

問1 インドにおける宗教別の人口構成について、その割合の状況を正しく説明しているものはどれですか。（2021年 兵庫公立入試 類似）

1. 人口の約80パーセントをヒンドゥー教徒が占め、次いで約15パーセントをイスラム教徒が占めている。
2. 仏教の発祥地であるため、現在でも人口の約80パーセントが仏教を信仰している。
3. かつてイギリスの植民地であったため、キリスト教徒が人口の約80パーセントに達している。
4. 歴史的に西アジアとの交流が盛んであったため、イスラム教徒が人口の約80パーセントを占めている。

問2 中国における農業の特色について、北東部から中東部にかけての比較的降水量の少ない地域で、主食の原料として盛んに生産されている農作物を答えなさい。（2022年 和歌山公立入試 類似）

1. 小麦
2. 米
3. 茶
4. 天然ゴム

問3 インドにおいて、ヒンドゥー教徒が「聖なる川」として崇め、身を清めるために沐浴を行うことで知られる、インド北東部を流れる河川の名称を選択してください。（2018年 福岡県公立入試 類似）

1. インダス川
2. ガンジス川
3. メコン川
4. ブラマプトラ川

問4 1980年のインドネシアでは、原油や天然ゴムといった原料・燃料の輸出が中心でしたが、2016年には輸出総額が約15倍に拡大し、機械類が輸出額の約4割を占めるようになるという大きな変化が見られました。このように、産業の中心が農林水産業や資源採掘から製造業へと移り変わる現象を何といいますか。（2019年 山形県公立入試 類似）

1. 工業化
2. 農業の多角化
3. モノカルチャー経済の継続
4. 輸入代替化

問5 農作物の生産量においてアジア諸国が上位を占めている「米」の栽培について、その背景や特徴を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2020年 沖縄公立入試 類似）

1. 単位面積あたりの生産力が高く、人口が多い地域の主食として適している。
2. 夏の降水量が少ない乾燥した地域での大規模な栽培に適している。
3. 生産されたものの大部分が、家畜の飼料として先進国へ輸出される。
4. 生産量の大部分が国際的な貿易に回される、代表的な工芸作物である。

問6 ユーラシア大陸の中央部に位置し、北側をロシア、南側を中国という2つの大国に挟まれた広大な国土を持つ東アジアの国を、次の中から選びなさい。（2016年 愛媛公立入試 類似）

1. モンゴル
2. タイ
3. フィリピン
4. ノルウェー

問7 スリランカの産業構造に関する説明として、歴史的な背景と現代の状況を正しく組み合わせたものはどれですか。（2024年 新潟県公立入試 類似）

1. 植民地時代から続く茶のプランテーション農業に加え、近年は衣類製品の輸出が主要な産業となっている。
2. 広大な国土を活かした小麦の生産が盛んで、近年はIT産業が輸出額の大部分を占めている。
3. ガンジス川下流の肥沃な土地でジュートを生産し、世界最大の衣類輸出拠点へと成長した。
4. インダス川の灌漑を利用した綿花栽培が盛んで、古くから綿織物の輸出を独占している。

問8 インドでは情報通信技術（ICT）産業が急速に発展していますが、その要因の一つとして、数学の教育水準が高いことのほかに、技術者の多くが共通の言語としてある外国語を使いこなせることが挙げられます。かつてイギリスの植民地であった歴史的背景から、ビジネスや教育の場で広く普及しているこの言語は何ですか。（2020年 沖縄公立入試 類似）

1. 英語
2. ヒンディー語
3. フランス語
4. プログラミング言語

問9 中国の米の生産と流通に関する説明として、統計的な背景に基づいた正しい記述を次から選びなさい。（2018年 静岡公立入試 類似）

1. 世界生産量の約3割を占める世界最大の生産国であるが、巨大な国内消費のため輸出量は少ない。
2. 広大な土地があるものの米の自給率は低く、消費量の過半数を東南アジアからの輸入に頼っている。
3. 農業の近代化が遅れているため生産量は世界的に低いが、外貨獲得のために無理な輸出を行っている。
4. 生産された米の多くを輸出に回す「世界の食糧庫」としての役割を担っており、世界最大の輸出国である。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 人口の約80パーセントをヒンドゥー教徒が占め、次いで約15パーセントをイスラム教徒が占めている。	インドの宗教構成は、ヒンドゥー教が約80%と最も多く、次いでイスラム教が約15%となっています。仏教はインドで誕生した宗教ですが、現在のインド国内における信者数の割合は非常にわずかであり、むしろ後から伝播したイスラム教の方が大きな勢力を持っている点が統計上の大きな特徴です。
問2	答え 1 小麦	中国では「南稻北麦」という言葉があるように、降水量の多い南部では米（稲作）が、降水量の少ない北部や中東部では小麦（畑作）の栽培が盛んです。自然環境の条件に合わせて、アジア州の主要な生産地としての役割を果たしています。
問3	答え 2 ガンジス川	インド北東部を流れ、ベンガル湾に注ぐ大河です。ヒンドゥー教においてこの川は女神の化身と考えられており、その水で体を洗うことで罪が洗い流されると信じられています。流域のバラナシ（ベナレス）などの都市には、沐浴を行うための「ガート」と呼ばれる階段状の施設が整備されています。
問4	答え 1 工業化	インドネシアでは、かつては特定の天然資源や農産物の輸出に頼るモノカルチャー経済に近い状態にありましたが、近年は製造業が飛躍的に発展しました。輸出の主役が原油やゴムから機械類へと変化したことは、その国で加工・製造を行う能力が高まったことを示しています。
問5	答え 1 単位面積あたりの生産力が高く、人口が多い地域の主食として適している。	米は小麦など他の穀物と比較して、同じ面積の土地から収穫できる量（土地生産性）が多く、多くの人口を養うことができる農作物です。そのため、古くから人口が密集してきたアジアのモンスーン地域において、主食として広く普及しました。また、生産された国の中で消費される割合が高いことも特徴の一つです。
問6	答え 1 モンゴル	モンゴルは、東アジアの内陸部に位置する国です。地図上で見ると、広大な面積を持つロシアと中国に上下を囲まれるように位置しており、海に全く面していない「内陸国」としての特徴を持っています。
問7	答え 1 植民地時代から続く茶のプランテーション農業に加え、近年は衣類製品の輸出が主要な産業となっている。	スリランカは、イギリスによる植民地支配の影響で、山岳地帯を中心に輸出用の茶を生産するモノカルチャー経済が形成されました。しかし、独立後は経済の多角化を図り、豊富な労働力を利用した繊維・衣類産業を育成した結果、現在では衣類が茶を上回る主要な輸出項目となっています。他の選択肢にあるIT産業はインド、ジュートや大規模な衣類輸出はバングラデシュ、インダス川の綿花はパキスタンの特徴です。
問8	答え 1 英語	インドはかつてイギリスの植民地であったため、独立後も英語が準公用語として広く使われています。多言語国家であるインドにおいて、英語は異なる言語を話す人々を結ぶ共通語の役割を果たしており、特にアメリカ合衆国などの英語圏の企業と取引を行うICT産業において、意思疎通がスムーズに行えるという大きな利点となっています。
問9	答え 1 世界生産量の約3割を占める世界最大の生産国であるが、巨大な国内消費のため輸出量は少ない。	2011年のデータによれば、中国の米生産量は約2億トンに達し、世界全体の生産量の約30%を占めています。一方で、同年の世界全体の輸出量約3761万トンに対し、中国の輸出量はわずか49万トンです。これは「生産量が多いが、それ以上に国内で食べる人が多いために輸出に回らない」という、人口大国である中国特有の供給構造を示しています。